



松 明

(令和8年1月・2月号) 2026 vol. 1



P2 療育だより 二十歳を祝う会より

「令和8年 年頭のごあいさつ」

独立行政法人国立病院機構福島病院 病院長 杉 浦 嘉 泰



新年あけましておめでとうございます。旧年中は当院の運営並びに地域医療連携に対し、格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は10月27日に当院の整形外科診療を支えてこられた古川浩三郎名誉院長が急逝され、整形外科外来診療を終了いたしました。これまで通院されていた患者さんには急なことでご心配をおかけいたしました。また、患者さんの診療を引き継いでいただきました医療機関の皆様のご高配に深謝いたします。古川先生は平成15年4月から22年3月まで当院の院長を務められ、平成16年の国立郡山病院との合併および独立行政法人化にご尽力いただき、現在の福島病院の礎を築かれました。院長退任後も昨年9月まで患者さんに寄り添った外来診療を続けられ、当院の整形外科診療を支えていただきました。私が担当する脳神経内科は脊椎疾患や末梢神経障害で整形外科とは密接に連携いたしますが、古川先生は症候学にも造詣が深く豊富なご経験に基づいた診療をされ大変勉強させていただきました。

令和8年も職員一丸となり「納得の医療で地域や社会に貢献」という基本理念をさらに深化させ、地域の皆様に信頼される病院であり続けることを目指します。当院は重症心身障害児(者)医療と神経難病医療を中心に、地域に密着した幅広い医療サービスの提供を目指してきましたが、医療を取り巻く環境は変化し続けており、医療ニーズは多様化・複雑化しております。このような状況の中で小児科・脳神経内科の最新の知見に基づいて患者さん一人ひとりに最適な医療を提供いたします。また、患者さんが生き生きと暮らせる社会を目指し、地域の医療機関や介護施設との連携をさらに深め、入院から在宅医療まで切れ目のない支援に取り組んでまいります。

医療の原点は「人を想う心」にあります。私たちは常に患者さんの声に耳を傾け、地域に根ざした信頼される病院であり続けるよう、職員一丸となって邁進する所存です。本年が皆様にとって、健康で希望に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

本号のご案内

- | | | | |
|----------------|---|--------------------------|---|
| ●令和8年 年頭のごあいさつ | 1 | ●看護部だより 学校訪問ははじめました | 5 |
| ●療育だより 二十歳を祝う会 | 2 | ●2025年院長賞・福島病院3大ニュースについて | 5 |
| ●療育だより クリスマス会 | 3 | ●外来担当医表 | 6 |
| ●新年を迎えて「今年の抱負」 | 4 | | |

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

11月19日に、5病棟プレイルームで「二十歳を祝う会」が行われました。

今年度は、5病棟男性1名、6病棟男性3名、合計4名の患者さんが晴れて二十歳を迎えられました。

式当日は、院長先生から「二十歳証書」、看護部長から「花束」、栄養管理室から「ノンアルコールワイン」が授与され、いつもと違った雰囲気、患者さんは少し緊張した様子を見せていました。

「思い出のアルバム」では、患者さん一人一人の小さい頃からの写真を、スライドで上映しました。どの写真もイキイキした表情で笑顔が印象的で、二十年の年月の重みを感じました。現在の立派に成長されたたくましい姿と重ね合わせ、感動のスライドショーになりました。

当日は、残念ながら1名が欠席となり3名の参加となりましたが、心に残る素晴らしい式となりました。欠席された患者さんについては、後日、病棟で実施させて頂きました。



街中の色鮮やかなイルミネーションが楽しい季節となり、福島病院では、今年も各病棟でクリスマス会が行われました。聖歌隊によるハンドベル演奏では、『きよしこの夜』と『星に願いを』の2曲を披露しました。演奏を聴いたスタッフからは、『感動しました!』という声が聞かれ、みなさん真剣に聴いてくださいました。他にも楽器当てクイズや合奏、歌などでは、普段接する機会のない他病棟の指導室スタッフや病棟スタッフと一緒に、クイズの答えを考えたり、楽器を奏でたり楽しい時間を過ごすことが出来ました。「サンタさん来るかなあ?」と心待ちにしていた患者さんの願いが叶い、今年もサプライズでサンタクロースがやってきました。多くのプレゼントをトナカイと共に届けてくれ、患者さんもスタッフも笑顔あふれるクリスマス会となりました。プレゼントは、早速各病棟の活動で使用させていただいています。サンタクロースさん、ありがとうございました。また来年もみんなで待っていますね!



新年を迎えて「今年の抱負」



事務部
企画課長
工藤 一光
(くどう かずみつ)

●新年あけましておめでとうございます。

いつの間にか五回目の年男を迎えることとなってしまいました。60年に一度やってくる「丙午」は、迷信が迷信を生む形で出生数が少ない年となっていたようで、前回の昭和41年（1966年）の出生率は前年から25%減っていたそうです。私自身も、小中高と他の学年より1クラス少ない中で学生生活を送りましたが、福島病院は今回二度目の勤務で間もなく2年がたとうとしています。知らぬ間に近づく定年通知受領の日が来ることに震えながら、あちこちガタが来ているからだに心に鞭を打って過ごす毎日です。

最後に皆様にとって本年が平和で穏やかな一年となることをお祈りして新年のあいさつとさせていただきます。今年もどうぞよろしく願いいたします。



地域医療連携室
看護師
五百澤 洋子
(いおざわ ようこ)

●明けましておめでとうございます。

私が現在働いている地域医療連携室は、院内外の多職種と連携をとり入退院支援を行う部署です。

長年、看護師として臨床で働いてきた私には未知の分野だと異動前から覚悟はしてきましたが、正にその通りでした。

入退院支援や検査委託、年末の挨拶回りや人生初の名刺交換も経験しました。そんなこんなで、昨年は人と接するにあたって人生で一番本を読んだ年でした。お手本のような先輩や仲間と働くことができ社会性が一気に磨かれる部署だなと感じております。そのようにして培った社会性や看護観を生かし、丁寧にお話をして患者さんや家族の意向に沿った療養先選定のお手伝いや、不安を少しでも減らせるような入退院支援をさせていただきたいと思っています。

2026年もよろしく願いいたします。



看護部 第6病棟
看護師
田母神 敬祐
(たもかみ けいすけ)

●新年あけましておめでとうございます。

早いもので福島病院に入職してから約4年が経ちました。入職してから辛いことも楽しいことも様々でしたが、病棟スタッフのみなさんやメディカルのみなさんの助けもあり、なんとか業務・日常生活を過ごしています。最近はコロナの制限も徐々に緩和されて病棟内でも御家族の姿を見かけることがあり、いつも以上に活発な病棟となっているように感じます。それと同時に面会中の患者様の穏やかな表情をみることがスタッフ全員のモチベーションとなっており、今後も感染対策に留意しながら継続できるように自分自身の体調管理もしっかり行っていききたいと思います。

2026年は自分自身の健康を第一に考え、仕事面では看護師として今まで学んだ知識や経験を活かしながらも、入職した時の気持ちを忘れずによりよい看護を提供できればと思います。

2026年もよろしく願いいたします。



リハビリテーション科
作業療法士
橋本 美佑
(はしもと みゆう)

●新年明けましておめでとうございます。

昨年4月に入職してから、まもなく1年を迎えようとしています。昨年は新しい環境で業務を覚え、一日一日を乗り越えることで、目まぐるしくあっという間に過ぎていきました。先輩方や多職種の皆様に温かいご指導をいただき、支えていただきながら、学びの多い充実した日々を過ごすことができました。

2026年の午年は「丙午」にあたり、情熱や行動力といった炎や火の力が象徴とされ、エネルギーが高まり開運を引き寄せる年と言われているそうです。年女の午年となる今年は、馬のように力強く前進し、これまで学んだことを日々の業務に生かしながら、自分自身の成長と大きな飛躍につなげる1年にしたいです。まだまだ至らない点も多いですが、初心を忘れず、一つひとつの経験を大切に、責任をもって取り組んでいきます。

本年もご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

看護部だより

学校訪問はじめました

看護部 副看護師長 高橋麻美・星 百香利・佐藤拓貴

副看護師長会では、未来の看護の担い手を確保するため、
看護の仕事について興味を持ってもらおうと、学校訪問を実施しています。

11月27日に須賀川市立阿武隈小学校を訪問し、6年生71名に看護体験をしてもらいました。お互いの血圧を測定したり、ドレッシング剤を腕に貼ったり、滴下を合わせたり、心肺蘇生したりと、楽しみながら看護の仕事に触れてもらいました。

少子高齢化社会の今、看護の担い手を確保していくことはとても重要なことです。学校訪問をきっかけに、看護の仕事に興味を持ち、将来看護師を目指すきっかけになってくれたらと思います。



11月28日には、須賀川創英館高等学校に訪問し、1年生12名の学生さんへ正看護師資格取得後の進路や活躍の場などについて、講義と看護体験を行ってきました。モデル人形を用い採血体験やAED装着の実技体験や、新人看護師の1日の仕事の様子をDVDで見てもらい、看護師の仕事についてイメージを持ってもらえた反応がみられました。看護学校へ進学後の勉強についてなど具体的な質問もあり、看護職に対してより興味を持ってもらえる機会となりました。令和8年2月には、同校2年生への学校訪問も予定されており、看護職に魅力を感じてもらえるような訪問にしたいと思います。

2025年院長賞・福島病院3大ニュースについて

管理課 庶務係 森田直美



● 外来看護師 坪井恵美子さん

整形外科へ長年にわたり通院中の患者さんが、不安なく別の病院へ転院できるようタイムリーで丁寧な対応に尽力し、多くの患者さんから感謝の声が寄せられました。



● 研究検査科

新たな取り組みとしてエコー検査の共同利用を計画・実行し、地域医療や当院の経営改善に貢献する取り組みを行ったことが評価されました。

福島病院 3大 ニュース

全職員の投票をもとに決定した2025年の3大ニュースは以下のとおり決定しました。

- 国立病院総合医学会にて主任栄養士と1病棟看護師がベストポスター賞を受賞
- 故 古川浩三郎 名誉院長の長年にわたる当院への貢献に感謝
- 看護部初の学校訪問を開始

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【令和8年1月1日現在】

区	分	月	火	水	木	金
内 科	1	安 田 千 尋	安 田 千 尋	安 田 千 尋		
内 科	2	佐 藤 由紀夫 (第1・3)				
内 視 鏡 検 査					安 田 千 尋	
脳 神 経 内 科		伊 藤 英 一	杉 浦 嘉 泰	伊 藤 英 一		杉 浦 嘉 泰
小 児 科		福 島 医 大 郎 氏 家 二 郎	石 井 勉	石 井 勉		河 原 田 勉
専 門 外 来 (発達小児クリニック)		氏 家 二 郎	石 井 勉			河 原 田 勉
専 門 外 来 (小 児 神 経 外 来)				石 井 希 代 子		
専 門 外 来 (小児循環器外来)				桃 井 伸 緒 (第2)		
小 児 専 門 外 来		予 防 接 種 (午後)				
小 児 外 科					清 水 裕 史	
脳 神 経 外 科			福 島 医 大 (第2)			

- **完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。**
- 受付時間は**午前8：30～11：00**までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- 外来担当医表は令和8年1月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

●専用ダイヤルをご利用ください●

診療のお問い合わせ・ご相談（月～金 9:00～17:00）

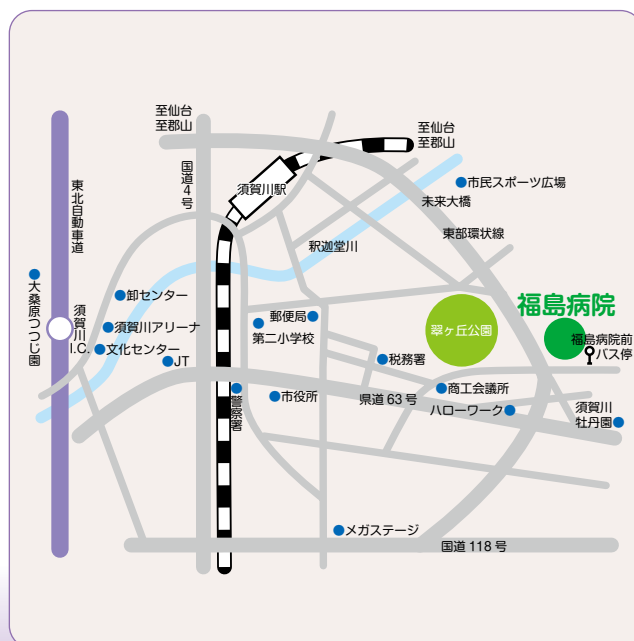
診療の予約・変更等(月～金 15:00～17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

● 編集後記 ●

あけましておめでとうございます。須賀川の皆さまと新年を迎えることができ、嬉しい限りです。須賀川でもしばしば積雪があるので、雪道転倒に気を付けましょう。北海道出身の私は、雪かきで鍛えた腕力と根性で、ワークライフバランスという言葉は捨てずに働いて働いてまいります！

(編集委員 Y・S)



National Hospital Organization Fukushima National Hospital

独立行政法人国立病院機構 福島病院

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
☎0248-75-2131 (代表)

<https://fukushima.hosp.go.jp/>